伊奈町教育委員会　業務改善ポリシー(H29～H31)

R1.10.29 現在

業務改善ポリシー検証結果（R元．１０月結果）

現状

○勤務時間を除く在校時間（単位は「１日あたりの平均時間」）
　小学校　３時間０７分　、中学校　３時間１２分（H29.6 調査）
○年次休暇平均取得日数　　小学校　１４．１日、中学校　１０．０日(H28 年)
○県学力・学習状況調査(H29 年度)
　・学力を伸ばした児童生徒の割合　６９．４％
　・自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合　小７９．９％、中７１．５％
○教職員アンケートの状況(H29.7 調査)
　・子供と向き合う時間の確保がされている。小６２．７％、中５２．５％
　・教材研究や授業準備に必要な時間がとれている。小２１．２％、中３１．３％
　・ワーク・ライフバランスの実現が図られている。小２２．０％、中１７．５％
　・持ち帰り仕事をした日数が月６日未満。小４５．８％、中６４．６％
　・自分の職務について負担感が大きいと感じていない。小６１．９％、中６５．０％

課題

○勤務時間を除く在校時間が長く、仕事の持ち帰りの状況も見られる。
○授業以外の業務が多く、子供と向き合う時間の確保が十分とはいえない。
→この他、学力向上の取組、新学習指導要領への準備等の時間の確保が十分とはいえない。

改善目標（ＫＰＩ含む）

※目標値は、いずれも現状を基準としたもの

○在校時間の削減【業務改善アシスタントの必要性及び効果】
　勤務時間を除く在校時間を、拠点校で１５％（約３０分）削減(H30.6)→２０％（約４０分）削減(H31.6)。
　その他の学校で５％（約１０分）削減(H30.6)→８％（約１５分）削減(H31.6)。
○子供と向き合う時間の確保、教材研究や授業準備の時間確保、ワーク・ライフバランスの向上、持ち帰り仕事の日数減少、負担感の軽減（教職員アンケートの回答項目）
　拠点校で５pt(H30.2)→１０pt(H31.2)→１５pt(H31.7)向上。
　その他の学校で３pt(H30.2)→７pt(H31.2)→１０pt(H31.7)向上。
○県学力・学習状況調査の向上
　県学力・学習状況調査の結果で、学力を伸ばした児童生徒の割合
　平成２９年度時点より年々増加
　自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合　３％増(H31.7)
○年次休暇が取りやすい環境
　年次休暇平均取得日数
　拠点校で１０％増(H30.1)→１３％増(H31.1)→１５％増(H32.1)。
　その他の学校で５％増(H30.1)→８％増(H31.1)→１０％増(H32.1)。
○伊奈町の取組を県内外に発信　協議会での取組発表、視察対応等　年１０回
○部活動の適切な在り方の完全実施　(H31.4.1 まで)

業　務　改　善　方　針

Goal　以下の方策をモデル校である小室小学校、小針中学校を中心に調査研究を行う。

教員の子供と向き合う時間の確保、教員のワーク・ライフバランスの推進、
教員の負担感の軽減、チーム力向上、自己啓発の促進　　⇒教員の指導力向上、児童生徒の学力向上

伊奈町教育委員会

Practice

②業務アシスタント・加配教職員の配置、
務職員の積極的な学校運営への関わ
による効果的・効率的な組織体制の構築

・校長直下に位置付けた教頭、教員を補佐する
業務アシスタントの配置・活用に係る効果検証
・加配教職員によるカエル会議の運営、会議
で提案された業務改善策の企画・推進
・事務職員、事務の共同実施による業務改善の推

Base

①ワークライフバランスに対する意識の
自分自身の「働き方の見直しの視点」
管理職の組織マネジメントの意識の醸

改善目標（ＫＰＩ含む）

※目標値は、いずれも現状を基準としたもの

R元．１０月結果

○在校時間の削減【業務改善アシスタントの必要性及び効果】
　勤務時間を除く在校時間を、拠点校で１５％（約３０分）削減(H30.6)＝１１．７％（２４分）
　⇒２０％（約４０分）削減(R元.6)＝１１．７％（２４分）
　その他の学校で５％（約１０分）削減(H30.6)＝４．９７％（９分）⇒８％（約１５分）削減(R元.6)＝３．３３％（７分）
○子供と向き合う時間の確保、教材研究や授業準備の時間確保、ワーク・ライフバランスの向上、持ち帰り仕事の日数減少、負担感の軽減（教職員アンケートの回答項目）
　拠点校で５pt(H30.2)＝６．２pt 向上⇒１０pt(H31.2)＝１６．９pt 向上⇒１０pt(R元.7)＝１５．８pt 向上
　その他の学校で３pt(H30.2)＝２．７pt⇒７pt(H31.2)＝１３．３pt 向上⇒１５pt(R元.7)＝８．５pt 向上
○県学力・学習状況調査の向上
　県学力・学習状況調査の結果で、学力を伸ばした児童生徒の割合
　平成２９年度時点より年々増加　（Ｈ２９）６９．４％⇒（Ｈ３０）６９．７％⇒（Ｈ３１）７０．４％
　自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合＝３％増(R元.7)（Ｈ２９）７５．９％⇒（Ｈ３１）７５．４％
○年次休暇が取りやすい環境
　年次休暇平均取得日数
　拠点校で１０％増(H30.1)＝増減なし⇒１３％増（H31.1）＝９％増
　その他の学校で５％増(H30.1)＝３％増⇒８％増（H31.1）＝３％増
○伊奈町の取組を県内外に発信　協議会での取組発表、視察対応等　年１０回＝（Ｈ２９）１９回⇒（Ｈ３０）３１回
○部活動の適切な在り方の完全実施　(H31.4.1 まで)　（推進中）